

きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん きりすこどもえん



0・1・2歳児5月主題 「気づいて」

- 月のねがい
 ◎さんびかに親しむ
 ◎草花にふれて、散策を楽しむ
 ◎ゆったりした生活リズムや雰囲気の中で、保育者と信頼関係を築き、思いや甘えを伝えようとする
 ◎好きな場所、遊びを見つけて遊ぶ

3・4・5歳児5月主題 「気づき」

- 月のねがい
 ◎神さまに愛され、守られていることを知る
 ◎興味があることを見つけて、自分からかかわろうとする
 ◎友だちとのふれあいやかかわりが生まれる
 ◎自分の気持ちや気づいたことを身近な人に伝えようとする



おとうぼん したい!

新学期がスタートして早1ヶ月が過ぎました。こども園では、新しく入園した子どもたちがやっとならぬ園生活のリズムを覚えてきたところです。朝のお約束として、
 ・朝は外遊びをたっぷりすること。
 ・太陽の光を浴びながら庭いっばいに広がって体操すること。
 ・朝の礼拝で心を静かにして、神様のお話を聞くこと。
 これらのことを、少しずつ集団として、一緒に活動できるようになってきました。

朝の礼拝では、皆の前で各クラスのお当番が、「きりすこども園、あい組、〇〇です。」と名前を言います。これがとても緊張するようで、自分の番が回ってきてもモジモジして声が出ないお友だちもいます。皆の目が自分に集まる...何とも言えない雰囲気、なかなか前に進めません。

「声が出せない」という現実からスタートしても、「大丈夫だよ、きつと言えるようになるよ!」というメッセージを先生が送ってあげます。子どもたちはそれぞれで自分と戦い葛藤し、元気に挨拶するお友だちの姿を見て学んでいきます。そして自分から少しずつ挨拶が出来るようになっていくのです。

いつの日か「早くお当番したい!」という声が聞けるのがとても楽しみです。神様が少しずつ変えてくださることに感謝します。私たちも、緊張を乗り越え挑戦しようとする子どもたちを日々応援していきます。

園長



今月の聖句 「喜ぶものといっしょに喜び、泣くものといっしょに泣きなさい。」

ローマ人への手紙12章15節

人生には、貧困であろうと裕福であろうと、そのことに関係なく、喜怒哀楽はつきものです。折しも、熊本地震がいまだに収束しない状況ですが、被災された皆さんが、一時も早く平穏な生活を取り戻されるようにお祈りします。

一方、「人生すべて塞翁が馬」の譬えて、万事が喜ばしい方向へ向くときもあり、喜ばしいことが続くことも、また事実です。節分会(え)で「福は～内、鬼は～外」と人々が望むわけですが、希望通りに運ばないのが人生でもあります。喜ばしい出来事、悲しい出来事が起こった場合、私たちは慣行として、お祝いやお悔やみを致します。これは古来よりの習わしで、喜びと悲しみを分かち合い、助け合いましょうという、とても素晴らしいことです。こども園のお友達が、病気でやすみすると、その方がはやく「元気になりますように」と、みんなで祈ります。このように、幼いときから、隣人の幸・不幸に対して共感し、共有して、悲しみと喜びを分かち合うことがどんなにか心の力になることを体験してほしいものです。

前理事長 池田公榮



あそんであそんで人間になる
 枝いっばいに芽吹いた新緑の間から、優しい木漏れ日が園庭に注いでいます。いつものようにセンダンの薄紫の花が満開を迎え、月見草が咲き誇っています。心地良い屋外の様子に反して、理事長室は最悪の状態。新制度開始の一年間で溜まった未整理のモノで溢れています。連休は、文字通り山積している書類と仲良く過ごします。

あそんであそんで人間になる

新年度を迎えて、あつという間のひと月が過ぎました。玄関や保育室で聞こえていた泣き声もほとんど納まり、少しずつ自分の居場所を見つけ始めた子どもたちです。新しい環境を観察しつつ、一日の流れや約束事を理解し始めて、周囲の子どもたちのことにも関心が向いてくるでしょう。それに伴い、自己主張の衝突も出てくるということになります。いつも仲良く遊んで欲しいと大人は願いますが、様々な心の葛藤や交流を経て、互いを認め合う関係になっていくのを見守ることも大切ですね。

子どもにとって、遊びは生きることに必要なことです。「これは何だろう?」「もつと知りたい!」知的好奇心の刺激が将来の学びや社会へ向かう原動力となります。ただ無秩序に遊んでいるように見えても、子どもたちの脳はフル回転で、いつも楽しいことを探しています。夢中になって遊ぶ中で友だちとのトラブルや葛藤を体験し、挫折感や成功感を味わいます。遊びを考え、工夫し、試行し、協力し合います。自然溢れる空間、ゆったり流れる時間、そして感動を共感できる友だち、都市部では少なくなりました。この三間こそ遊びの大切な環境構成といえるでしょう。皆さんも幼い日に、我を忘れて遊びに没頭したことがありでしょう。ノーベル賞を受賞するような方々の多くが、幼い日に昆虫採集や川遊び、風呂焚きを通して探求する心を養ったと回顧されています。集団の中で生まれる絶妙な距離感と自己主張のバランスが、梁塵秘抄のあの歌『遊びをせむとや生まれけむ』という子どもの真骨頂です。私たちもほどよい「遊び」心を持って子どもたちに接していきたいものです。

何よりも保護者の皆さんが、お子さんのありのままをしっかりと受け止めてくださる安全基地であることです。「泣いてもいいんだよ!」「いっばいあそんでおいで!」と送り出してくだされば幸いです。子どもによつては、そろそろ疲れがはじめる頃です。連休をこ家族で楽しめながら、どうぞ十分な休養もお願ひしたいと思います。梅雨時を元気に乗り越えるためにも、毎日の変化に感じた対応や食事・睡眠に留意し、保護者の皆様のご協力をいただきます。

園長

5月の行事予定

9日～14日	家庭訪問(3才以上)
10日(火)	尿検査(3才以上)
11日(水)	弁当日
13日(金)	誕生会(4・5月生れ)
21日(土)	親子遠足 父母会総会
24日(火)	内科検診(全園児)

6月の行事予定

4日(土)	家族の日参観(3才以上)
10日(金)	歯科検診
14日(火)	給食試食会(あい組)
16日(木)	給食試食会(のぞみ組)
21日(火)	海遊び・弁当日
28日(火)	誕生会(6・7月生れ)
30日(木)	海遊び



のぼりぼう

いろいろな活動や行事には体力が必要です。成長の基礎となるからだ作りは、幼児期に大切なもの。子どもたちは、頭と身体をフル回転させながら探求と交わりを深め、日々体幹を整えていきます!



へいぎんだい

からだをつかっていっばいあそぼうね!



すべりだい



こうえんゆうぎじょう



さかめくせんぼ



うんてい



ブランコ



たいこぼし



クライミング